

事故 報告書		施設長		副施設長		援助課長				係長		担当			
フルーツ・シャトーよいち															
フリガナ	●●●●●			男 (女)	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子								
本人氏名	●●●●● 様			100 歳			☐ その他 ()								
報告者	●●●●●					発生(発見)日時		令和06年07月09日(火) 06:50 分頃							
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()														
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()														
	居室訪室の際、ベッド側に足を向け長座位で床に座っている所を発見する。本人に状況を確認するも良くわからないと話される。窓側にあるハンガーラックが倒れており服を取るうとした際にハンガーラックが倒れてきたんですかと尋ねると「そうだ、あれが倒れてきてぶつけたんだ」と話される。靴は履かず裸足の状態。 施設内連絡 7:08 待機看護師に連絡する。 7:35 施設長へチャットラックにて報告する。 7:35 副施設長へチャットラックにて報告する。														
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()										部位	右前頭部			
8cm×6cm程の腫れ見られる。嘔気・嘔吐は見られず。身体観察するもその他腫れや変色は確認出来ず。															
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 7:08に待機NSに連絡する。症状と状態を説明し、患部を冷やし居室安静するよう指示あり。														
バイタルサイン	体温	36.1℃		血圧	133 / 77 mmHg		脈拍	75 回/分		SP02	95 %		計測時間	7:00	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()														
事故防止対策															
	カンファレンスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要														
家族への説明	令和06年07月09日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●						
	家族氏名		●●●●●様				続柄		長男						
電話にて状況と状態を説明し謝罪する。「わかりました。少しでも何か変わりあれば連絡ください。」とお話ある。															

事故報告書			施設長	副施設長	援助課長			係長	担当	
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●	男	要介護2	移動	☐ 独歩 ☒ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子					
本人氏名	●●●●●様	87歳			☐ その他()					
報告者	●●●●●				発生(発見)日時	令和06年07月05日(金) 18:40 分頃				
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他()									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☒ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他() 配薬ボックスを持ち本人の元に行き薬を取り出す。その際ご本人の薬とともに他入居者の薬も一緒に取り出したのを気づかずにそのまま確認を行う。1包ずつ名前といつの薬かを確認しなかったため持っていた他入居者の薬も一緒に服用させてしまう。 (施設内連絡) 18:40医務看護師に誤薬があった事を連絡する。 19:18●●施設長にチャットラックにて誤薬があった事を報告する。 19:25●●課長にチャットラックにて誤薬があった事を報告する。 20:30●●施設長に電話にて誤薬があった事を再度、報告する。									
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他()							部位		
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他() 医務に報告し、本人に体調確認を行う。「ちょっと苦かった」と話されるので水200cc提供し飲んでいただく。 薬の内容:ランソプラゾールOD錠(胃酸の分泌を抑える薬)、レバミピド錠(胃の粘膜を保護する薬、胃炎の症状を改善する薬)									
バイタルサイン	体温	36.3℃	血圧	151 / 84 mmHg	脈拍	76 回/分	SP02	99 %	計測時間	18:50
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他()									
事故防止対策										
家族への説明	令和06年07月05日(金)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●様		続柄		内縁の夫			
	配薬介助の際、他の入居者の薬も一緒に服薬させてしまったことを説明し謝罪する。「そんな大した薬じゃないんだから、そんなことで連絡してくるんじゃない」と話される。再度、謝罪し「今度は気を付けてくださいね」とお言葉いただく。									

事故 報告書		施設長	副施設長	援助課長	係長			担当			
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ		男 ☒ 女 ☐	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子						
本人氏名	●●●●様	93 歳			☐ その他 ()						
報告者	●●●●			発生(発見)日時	令和06年07月03日(水) 06:57 分頃						
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☒ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 (トイレ便器付近))										
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()										
	6時57分 黒川拠点で業務中にトイレから「すみませーん」と声が聞こえた為トイレに向かうと左半身を下に転倒している本人を発見する。 本人に状況確認すると「足に力が入らなかったのさ」と話されています。どこに頭をぶつけてしまったか覚えてますかと聞くと「便器に頭ぶつけたの」と話されています。 明確な状況は分かりませんがトイレ周りが尿で汚れていたため、足を滑らせたか、バランスを崩したのかのどちらかの要因が考えられると思います。 確認した所、靴は履いていて車椅子のブレーキもしっかりされていました。車椅子の位置もいつもと同じ距離で置いてありました。 【施設内連絡】 7月3日 9時17分 事故内容をチャットラックにて報告 9時30分 ●●課長にチャットラックで報告 9時40分 施設長に事故の件口頭で報告										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()						部位	右側おでこ上部			
	右側おでこ上部に3~4cm程の腫れ、変色見られる。 本人に痛みの有無確認すると「痛くない」と話されています。										
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 待機看護師より、腫れている場所を冷やし様子観察するよう指示あり。 腫れてる場所に冷えピタを貼り様子を見る。										
バイタル	体温	36.2℃	血圧	158 / 103 mmHg	脈拍	81 回/分	SP02	97 %	計測時間	7時10分	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ファレックスの必要性について ☐ 不要 ☒ 必要										
家族への説明	令和06年07月03日(水)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●		
	家族氏名		●●●●様					続柄		長女様	
	昨日のトイレでの事故の件、状況説明し謝罪する「ご迷惑お掛けしました。宜しくお願いします」とお言葉いただきました。										

事故 報告書		施設長		援助課長						係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち													
フリガナ	●●●●●●		男	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子 ☐ その他 ()							
本人氏名	●●●●● 様		88 歳										
報告者	●●●●●				発生(発見)日時		令和06年07月01日(月) 03:50 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()												
状況	☐ 転倒 ☒ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 梅川拠点に巡回に行くと「すみません」と居室より声出しあり。訪室すると、ベッドに上半身がうつぶせの状態でもたれ掛かっており、両足が交差するような状態で床に落ちているのを発見する。3:30に様子を伺いに行ったときには体動なく休まれているが、その後20分で事故に至っている。 前日の15:00と19:40の2回ベッドから転落事故が起きていた。ベッドが最低床で外傷等はなかったが、立て続けの事故の為サイドレールの位置の変更やベッドの位置を変更する等事故防止策を検討・実行し対応していた。 【施設内連絡】 4:10 事故状況と本人の状態について、電話にて施設長に報告する。												
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☐ 変色 ☒ 熱感 ☐ その他 ()										部位	右大腿部	
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 発見後、身体痛み何うと右足の痛み訴えあり。もともと骨折している箇所です装具をつけていた為、職員介助にて姿勢を整えた後足に触れない形でベッドへ移乗する。その後、他グループ職員に声を掛け右足の状態を確認すると腫れと変色を確認する。 待機看護師に連絡し、冷却対応して様子見ていることを伝え、痛み強いこと伝えと鎮痛剤服用しても良いと指示あり、鎮痛剤のカロナール2錠服用する。 翌日11:00に救急車にて小樽市立病院に受診。受診結果、右大腿部骨折との事でそのまま入院となる。												
バイタルサイン	体温	37.4℃	血圧	136 / 77 mmHg	脈拍	58 回/分	SP02	93 %	計測時間	4:40			
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()												
事故防止対策													
家族への説明	令和06年07月01日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●				
	家族氏名		●●●●●様		続柄		弟						
	昨日の事故と今回の事故の件・本人の状態について説明・謝罪する。防止対策も行っていたが、今回の事故に関しては昨日とは違った落ち方をしてる事を説明する。患部の状態と痛みの具合から骨折している可能性が高いことをお伝えし、受診の方向で考えている事をお話しすると「よろしく申し上げます」とお言葉頂く。また、今後の対応に関しても、改めて検討し対応させて頂くことも併せてお伝えする。												

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち									
フリガナ	●●●●●●	男 女	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子				
本人氏名	●●●●●● 様	84 歳			☐ その他 ()				
報告者	●●●●●●			発生(発見)日時	令和06年06月30日(日) 17:00 分頃				
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()								
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☒ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 17時頃、港大川職員より「●●●●●さんがベランダにいるんだけど大丈夫ですか？」と電話あり単独外出発覚する。 迎えに行った時は、●●●職員が拠点に誘導しておりにこやかであった。 本人から話を伺うと、正面玄関から出て施設と●●●病院の間を通って行ったと話される。 その時間帯、拠点に居た職員はそれぞれ入居者の介助の為居室やトイレに居て、●●●氏が居室から離れるのを気付 けていなかった。 【施設内報告】 17:10 ●●●援助員より●●●課長へ口頭にて単独外出の件報告する 17:30 ●●●援助員より施設長へ電話にて単独外出の件報告する								
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()							部位	
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()								
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()								
事故防止対策									
家族への説明	令和06年06月30日(日)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●●
	家族氏名		後藤健仁様		続柄		次男		
	電話にて単独外出の件、外相等なく戻られていることを伝え謝罪する。息子さんより「また、脱走ですね。いつもいつも、父がご迷惑をおかけしてしまい、すいません」と返答頂く								

事故 報告書		施設長		副施設長		援助課長				係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち													
フリガナ		男 ☒ 女		要介護 5		移動		☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名		●●●様		104 歳				☐ その他 ()					
報告者		●●●●				発生(発見)日時		令和06年06月28日(金)		12:40		分頃	
場所		☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内											
		☐ その他 ()											
状況		☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明											
		☒ その他(喉つまり)											
		屋食時、頭を下げた状態で、声掛けに反応無く口を開け唇が白くなっているのを確認する。屋食直前に入浴されており、上がってすぐの食事だった。眠気はあったが、声をかけると食べ始めた。最初にラーメンのスープを全部飲んでから3cm角に刻んだゆで卵と肉を食べたあと、手が止まり食べるのをやめた。声掛けに返答あり、口の中に何も残っていないのを確認してから、刻んだシューマイを介助にて口の中に入れたが噛む様子ない為、口の中のシューマイを取り出した。声掛けに反応無く、口をパクパクさせ、舌を出した状態あり、意識レベルの低下がみられる。看護師に連絡し、喉つまりの可能性があり背部タッピングを行う為前屈姿勢をとった際、テーブルに頭をぶつけてしまう。											
		(施設内連絡)											
		13:30 ●●主任援助員から●●施設長に事故の件口頭にて報告する。											
		13:32 ●●主任援助員から●●課長に事故の件チャットラックで報告する。											
症状		☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感								部位		右前頭部	
		☒ その他(意識消失)											
対応		☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☒ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()											
		看護師に連絡する。すぐに背部タッピング行う。サクション施行しようとした際「うっ」と声を出し、意識が戻る。サクションにて特に詰まった物は確認できないが、白色痰が少量引ける。背部タッピングの際に右前頭部をテーブルにぶつけ、1.5cm程の変色、腫れがみられる。冷却シートでクーリングし、20分程度そのまま様子を見る。											
バイタルサイン		体温		36.7℃		血圧		137 / 80 mmHg		脈拍		45 回/分	
		SP02		98 %		計測時間		12:40					
要因・原因		☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題											
		☐ その他 ()											
事故防止対策													
		加ファリスの必要性について		☐ 不要 ☒ 必要									
家族への説明		令和06年06月28日(金)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●			
		家族氏名		●●●●様				続柄		孫の妻			
		事故の件電話にて謝罪する。「また何かありましたらお願いします」とお話あり。											

事故 報告書	施設長	副施設長	援助課長			係長	担当

フルーツ・シャトーよいち

フリガナ	●●●●●●●●	男 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●● 様	89 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●	発生(発見)日時		令和06年06月25日(火) 15:45 分頃						
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☒ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 食事の席にある生け花として飾っている赤い実を口に入れた所を発見する。口の中を開けていただこうとするも、全く開けて頂けず口を紡がれる。医務に連絡し再度口を開けて頂く声掛けし口の中を確認すると無くなっている状態だった。 施設内連絡 15:45 ●●施設長にチャットラックにて報告する。 ●●課長にチャットラックにて報告する。									
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()					部位				
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 看護師がバイタル測定後、医師に連絡し対応確認する。 ヒベリカムという花を食べてしまったこと、また、現在状態に変化はないことを報告し指示を仰ぐ。 水分を多めに取り経過観察となる。 16時ごろに●●病院に連絡し、夜間の医師・看護師に引き継いでおく と回答いただく。									
バイタル	体温	36.5℃	血圧	105 / 83 mmHg	脈拍	65 回/分	SP02	99 %	計測時間	15:45
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	カンファレンスの必要性について		☐ 不要 ☐ 必要							
	令和06年06月25日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		篠原麻美	
	家族氏名		●●●●		続柄		次男			
生け花として飾っていたお花を食べてしまった事、その花に毒性があることがわかり病院にも相談したこと、現在症状はなく、水分を多めに取り経過観察させていただくことをお伝えし謝罪する。ご家族様から「かえって迷惑をかけてしまってますみません」とお言葉を受ける。										

事故 報告書		施設長	副施設長	援助課長			係長	担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ		男 ☒ 女	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●●●様	93 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●●			発生(発見)日時	令和06年06月18日(火) 23:10 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☒ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()									
	職員拠点で業務中にトイレから「ドン」と音がした為向かうと左側を下に転倒している所を発見する。車椅子はブレーキがかかっており、通常通りの位置にあった。本人に話を聞くと「座り損ねた」と話される。 【施設内連絡】 18日 23:50 チャットラックにて事故の報告をする。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()						部位	左額		
	左額に4cm程の腫れ、変色有り。転倒した際にトイレ内の手洗い場にぶつけたと思われる。 痛み確認すると少し痛いと言われる。									
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()									
	待機看護師より、患部を冷やすよう指示あり。 患部に冷えピタ、アイスノンで対応する。									
バイタルサイン	体温	36.5℃	血圧	156 / 81 mmHg	脈拍	80 回/分	SP02	98 %	計測時間	23:20
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
	加ファリスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要									
家族への説明	令和06年06月19日(水)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●様				続柄		長女	
	昨日のトイレでの転倒事故の件、本人の状況説明し謝罪する「ご迷惑お掛けしました。宜しく申し上げます」とお言葉いただく。									

事故 報告書		施設長		援助課長						係長	担当
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●●	男 (女)	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子						
本人氏名	●●●●●● 様	102 歳			☐ その他 ()						
報告者	●●●●●●				発生(発見)日時	令和06年06月14日(金) 16:00 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☒ 不明 ☐ その他 () 6月7日から腰痛の訴え聞かれており整形受診予約し、本日受診した所椎体骨折(腰椎三番目)と診断受ける。 4日 居室で介助バーに掴まりながら床に座り込む事故があったが、7日までは身体の痛みも聞かれず普段と変わらず過ごされていた。 7日 14:30 腰部の訴え聞かれ冷湿布貼用し様子見る。 17:30 「痛くて起きれない」とコールあり痛み止め服用し食事は居室配膳する。 18:30 痛み止め効果あり車椅子へ乗り自走し拠点に出て来られる。 8日 痛み和らぎ、車椅子使用され普段通り過ごされる。立ち上がりや立位保持は痛みの訴えなく行えている。 9日 15:30 腰部の痛み増強あり、夕食時から食事や排泄全てベッド上での安静対応とする。 夕食前「痛くないです、ご飯行きます」と端座位になられている事もあり。 【施設内連絡】 16:30 受診結果、椎体骨折だった旨施設長に電話にて報告する。										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (痛み) 部位 腰部 起居動作時の腰部痛										
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☒ 受診 ☐ その他 () 居室安静対応とし、痛み止め服用と冷湿布貼用し様子見ていたが痛み増強あり11日に受診予約をとり14日受診の運びとなる。 14日受診にて椎体骨折と診断され一か月ベルト装着のままベッド上安静との事で帰園。帰園後、排泄や食事等全てベッド上で対応し、ベルトを常時装着している。										
バイタルサイン	体温	36.1℃	血圧	96 / 61 mmHg	脈拍	59 回/分	SP02	92 %	計測時間	13:05	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ワレシスの必要性について			☐ 不要 ☒ 必要							
家族への説明	令和06年06月14日(金)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●		
	家族氏名		●●●●●●様				続柄		長女		
	ご迷惑おかけしますが宜しくお願いします 次回の受診は行けたら私も行きますとお返事頂く。										

事故 報告書		施設長		副施設長		援助課長				係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち													
フリガナ	●●●●●	男 ☒ 女	要介護 5	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子 ☐ その他 ()								
本人氏名	●●●●● 様	80 歳											
報告者	●●			発生(発見)日時		令和06年06月10日(月) 13:10 分頃							
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()												
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☒ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 昼食後本人の前で確認をしてから薬を服用して頂こうとした際に、他職員と他業務の話をする為、一度ボックスに薬を戻した。再度取り出す直前まで他利用者の話をしていた為、他利用者の薬と取違えてしまいそのまま気付かず に服薬、すぐに誤薬に気が付く。 〔施設内連絡〕 6月10日 13:15…医務へ連絡する。 13:30…施設長へ口頭にて報告する。 16:47…●●課長へチャットラックにて報告する。												
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()											部位	
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 誤って服薬した薬がニコランジル錠5mg心臓の動きを良くする作用のある薬である為、血圧が下がる恐れと吐き気 を催す恐れがある。定期的なバイタル測定(20時、6時)と体調変化を観察する。												
バイタルサイン	体温	36.3℃	血圧	142 /	98 mmHg	脈拍	68 回/分	SP02	98 %	計測時間	13:15		
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()												
事故防止対策													
家族への説明	令和06年06月10日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●援助員				
	家族氏名		●●●●●様		続柄		長女様						
	電話にて誤薬したことと薬の詳細を報告し、謝罪する。「今後は無いようにして下さい」とお言葉いただく。												

事故 報告書		施設長	副施設長	援助課長			係長	担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●	男 ☒ 女	要介護 1	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()					
本人氏名	●●●●● 様	97 歳								
報告者	●●●●●	発生(発見)日時		令和06年05月29日(水) 19:55 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () おんこ室からコールあり訪室する。グループホームの職員が廊下に出ると「誰かー助けてー」と大きな声がし訪室すると仰臥位で転んでいるのを発見したと報告を受ける。タンス前にある椅子の前でタンスに頭を向け仰臥位になり起きれなくなって声を出している、自力では起き上がれない様子と強い痛みの訴えある。職員2名でベッドまで動かすも、その際も強い痛みの訴えあり。どうしたのか伺うと何かとぶつかった、めまいがしたわけではないとしつかりと話されるも、転倒したと思っていない様子。グループ職員が駆けつけた際は電気がついていなく暗い中で倒れていたと報告を受ける。 【施設内連絡】 20:00 待機看護師在勤中だったため、事故の件連絡する。 20:41 事故のチャットラックにて施設長と●●課長へ報告する。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他(強い痛みの訴えと苦痛表情あり。)						部位	左大腿部		
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☒ 受診 ☐ その他 () 看護師在勤していたので連絡する。痛みの訴え強く受診となる。受診後、大腿骨近位骨折と診断を受ける。									
バイタルサイン	体温	36.3℃	血圧	114 / 75 mmHg	脈拍	76 回/分	SP02	99 %	計測時間	20:25
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	令和06年05月29日(水)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●課長	
	家族氏名		●●●●●様				続柄	長女		
	キーパーソンの長男様に連絡するもつながらないため、長女様にお電話したことをお伝えしたうえで、転倒し左腰部から大腿部の痛みがあることから受診したいことをお伝えし了承する。									

事故 報告書			施設長		副施設長		援助課長				係長		担当								
フルーツ・シャトーよいち																					
フリガナ		●●●●●		男(女)		要介護 3		移動		☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子											
本人氏名		●●● 様		67 歳						☐ その他 ()											
報告者		●●●●●						発生(発見)日時		令和06年05月17日(金) 14:30 分頃											
場所		☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()																			
状況		☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☒ その他 () 起床時に右(患側)膝周辺に腫れを確認する。痛みの訴えはなく看護師出勤後に連絡。この時点で発熱あり、11:30に余市協会病院外科・整形外科受診し、右大腿部遠位端骨折が発覚する。16日朝は腫れは見られていない為、そこからの介助状況確認。結果、通常と変わりのある介助をした状況はなく、夕食後の就寝介助時にも腫れには気が付かなかった。骨折部位からベッド上での横に向ける介助もしくは起き上がる際に足をベッドから降ろす動作の際に力がかかったのではないかと思われるが、通常時より患側側に触れると大声を出されるため骨折に至ったタイミングは断定が出来なかった。 ＜施設内報告＞ 9:50 援助課長より施設長へ膝の腫れがあること報告。 17:00 援助課長より施設長へ介助状況の確認の結果報告する。 20:00 援助課長より施設長へチャットラックにてご家族への説明し、了承いただいたこと報告。																			
症状		☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他(右膝周辺の腫れ)										部位		右大腿部							
対応		☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☒ 受診 ☐ その他 () 看護師出勤後に連絡。この時点で発熱あり、11:30に余市協会病院外科・整形外科受診。 装具(ニーブレス)装着し帰園。5月20日 市立小樽病院 整形外科受診し手術の為そのまま入院予定となる。																			
バイタルサイン		体温		37.6℃		血圧		136 / 82 mmHg		脈拍		98 回/分		SP02		92 %		計測時間		9:25	
要因・原因		☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()																			
事故防止対策																					
		介護支援の必要性について				☐ 不要 ☒ 必要															
家族への説明		令和06年05月17日(金)				説明方法				☐ 面会 ☒ 電話				説明職員				●●看護師・●●●●●			
		家族氏名				●●●様								続柄				次女			
		10:00膝の腫れの状況お伝えする。14:30受診結果と5月20日小樽市立病院整形外科に受診し手術のためそのまま入院予定と看護師よりお伝えする。ご家族対応しますと返答頂く。 18:00骨折に至った介助状況の確認結果をお伝えする。介助時であることは確実であるが、タイミングの断定が難しく、いつの介助時に骨折に至ったのかわからなかったこと説明、了承頂く。																			

事故 報告書		施設長		副施設長		援助課長				係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち													
フリガナ				男 ☒ 女	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子						
本人氏名	●●●●●様			84 歳			☐ その他 ()						
報告者	●●●●●					発生(発見)日時		令和06年04月29日(月) 15:00 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☒ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()												
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☒ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()												
	他グループの職員が拠点で業務中、窓から外を見ると、正面玄関の正門の横に設置しているゴミ箱の前に、車椅子に乗り一人でいる●●●●●氏を発見する。どうされたか伺うと「タクシーで家に帰ろうと思って」と話される。美園拠点に職員は居たが、●●●●●氏が拠点から出て行った事に気がつかなかった。車椅子を自走し、玄関の自動ドアを自分で開けて外に出たと思われる。怪我などは無く、無傷。 【施設内連絡】 15:05 ●●●課長へ単独外出の件、口頭にて報告する。 15:10 施設長へ単独外出の件、電話にて報告する。												
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()										部位		
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 居室へ誘導しお話を聞く。「息子も娘も来る来ると言っていていつまでも迎えに来てくれない。家はすぐそこだから一人で帰ろうと思った。」と話される。家が近くても車椅子で帰るのは危ないので、娘さんにお電話して、いつ来られるか聞いてみますね。とお伝えする。「お願いします。」と言い少し落ち着いた様子みられる。												
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間			
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()												
事故防止対策													
	かファリスの必要性について ☐ 不要 ☒ 必要												
家族への説明	令和06年04月29日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●				
	家族氏名		●●●●●様				続柄		長女				
	お電話にて単独外出の件、状況説明し謝罪する。「かえってご迷惑お掛けしてすみません。」とお言葉受ける。												

事故 報告書			施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●		男 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●●●様		88 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●		発生(発見)日時			令和06年03月28日(木) 16:20 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()										
	居室よりドンと物音がし確認すると同室者のベッド横で左側臥位になっている本人を発見する。「起きるのに歩いた」とはなされる。お尻が少し痛い・変色・吐き気なし 【施設内連絡】 3月28日16:25...●援助員から医務看護師へ口頭にて報告する。 17:20...●援助員から施設長へ口頭にて報告する。 17:23...●援助員から●●●課長へ口頭にて報告する。 3月29日12:00...●援助員から●●●係長へ口頭にて報告する。 3月31日12:00...●援助員から●●●SVへ口頭にて報告する。										
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()									部位	
	発見時は少し臀部痛みあるも車椅子に移乗すると痛みなくなったとはなされる。										
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()										
	1度車椅子に乗って頂き身体観察させていただいてから拠点で過ごして頂く。										
バイタル	体温	36.1℃	血圧	142 / 82 mmHg	脈拍	95 回/分	SpO2	96 %	計測時間		
要因・原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☒ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ファリスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要										
家族への説明	令和06年03月28日(木)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		泉龍援助員		
	家族氏名		●●●●●様				続柄		妻		
	変色・吐き気はなく、臀部の痛みがあることを伝え謝罪する。 「本人がしたくてしているので気にしないで下さい」とお言葉いただく。										

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち									
フリガナ	●●●●●	男	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子				
本人氏名	●●●●●様	82 歳	☐ その他 ()						
報告者	●●●●●	発生(発見)日時			令和06年03月18日(月) 11:00 分頃				
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☒ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()								
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☒ 不明 ☐ その他 ()								
	入浴時後頭部やや右側に周りが黄色くなりかけている変色発見する。 施設内連絡 11:00 ●●課長補佐に電話にて報告し様子見て頂く。 11:30 ●●副施設長に青塚課長補佐より報告し様子見て頂く。 11:50 ●●施設長へチャットラックにて報告する。 ●●援助課長へチャットラックにて報告する。								
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()							部位	後頭部やや右側
後頭部やや右側に周りが黄色くなりかけている変色発見する。押すと痛み見られる。									
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()								
バイタル	体温	37℃	血圧	124 / 86 mmHg	脈拍	100 回/分	SP02	%	計測時間
								12:30	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()								
事故防止対策									
	加ワレインの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要								
家族への説明	令和06年03月18日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●
	家族氏名		●●●●●様		続柄		娘		
	電話にて入浴時に後頭部に変色発見し痛み見られる事を報告・謝罪する。周りが黄色くなっている為時間が経っていると思われる事お話しし数日体調変化なく過ごされていた事お話しする。変色の原因がはっきりしていない為引き続き変色になった原因を探っていく事と体調変化をみさせて頂く事お話しし「わかりました。お願いします」と返答頂く。								

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当			
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●●	男 ☒ 女	要介護 5	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☒ その他 (手引き歩行)						
本人氏名	●●●● 様	77 歳									
報告者	●●●●	発生(発見)日時			令和06年03月08日(金) 23:50 分頃						
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☒ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()										
	他入居者介助後廊下の辺りからドンと扉を閉めるような音聞こえた為向かうと登拠点入口の廊下に長座位で転倒されているのを発見する。 【施設内連絡】 08:05 事故の件、電話にて施設長に報告する。										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (右太ももの痛み)							部位	右太もも		
身体観察の際腫れ変色は見られず。本人に痛み聞くと右太ももの辺りをさする。動かすと顔をしかめる様子あり。											
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 立ち上がり困難な様子の為車椅子用意し介助にて移乗する。居室へ移動しベッドに横になって頂き身体観察行う。 時間を置きバイタル測定する。 3月11日 右足の痛み軽度でベッド上で足を動かす際はスムーズに動かしているが、立ち上がりや歩行で負荷が掛かる際に膝おれの状態見られる為、協会病院整形受診となる。受診結果、右足大腿部頸部骨折との診断受け、手術が必要との事でそのまま入院となる。										
バイタルサイン	体温	36.2℃	血圧	115 / 77 mmHg	脈拍	76 回/分	SP02	96 %	計測時間	0 : 3 0	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ワリスの必要性について ☐ 不要 ☒ 必要										
家族への説明	令和06年03月11日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●		
	家族氏名		●●●●氏					続柄		長男	
	受診結果と入院になった旨お電話にてお伝えする。「父が心配していると思うので、明日11時頃に伺います」とお話受ける。										

報告書		施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当		
フルーツ・シャッターよいち										
フリガナ	●●●●●●●●	男	女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子				
本人氏名	●●●●● 様	81 歳				☐ その他 ()				
報告者	●●●●●			発生(発見)日時	令和06年03月05日(火) 20:20 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()									
	20:20頃、他の利用者様の介助が終わった際に居室を出てすぐのところで転倒されている所を発見しました。本人に話を聞くと「トイレに行こうとしたんだ」と話され、その際「頬を少しぶつけた」と話されています。頬に少し赤みが見られるも本人は「どこも痛くない、大丈夫だ」と話されています。その他外傷・腫れ等痛みの訴えもありません。 【施設内連絡】 3月5日(火) 20:20 待機である●●課長に電話にて連絡する。 20:47 施設長へ転倒の件をチャットラックにて報告する。 20:47 ●●課長へ転倒の件をチャットラックにて報告する。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他(頬に赤みが見られる。)					部位	頬			
	頬に少し赤みが見られるが痛みの訴えや腫れ、バイタルの問題は見られません。									
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()									
	待機である●●課長に連絡し、転倒についての状況説明をし様子観察する様指示を受ける。									
バイタルサイン	体温	36.4℃	血圧	151 / 97 mmHg	脈拍	78 回/分	SpO2	98 %	計測時間	20:20頃
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
	加ファレックスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要									
家族への説明	令和06年03月05日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●様				続柄		長男様	
	ご家族様に転倒してしまった事を電話にて謝罪と状況説明。長男様「あらら～、怪我しなくて良かったです。分かりました。」とお話される。									

事故 報告書		施設長	援助課長		係長	担当				
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●●●●	男 ☒ 女 ☐	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☒ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()					
本人氏名	●●●●● 様	87 歳								
報告者	●●●●●			発生(発見)日時	令和06年02月22日(木) 06:45 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室より「ガシャン、ドン」と物音がし訪室すると、居室中心辺りで右側を下にして転倒されているのを発見する。確認すると、右側おでこに軽度の裂傷あり出血見られる。転倒の際、近くにあった椅子におでこをぶつけた様子。 【施設内連絡】 8:34 事故の件、電話にて施設長に報告する。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☒ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()					部位 右側おでこ				
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 出血箇所を数分圧迫にて止血し、徐々に出血はおさまる。待機看護師に連絡し、ガーゼ保護の指示あり対応している。									
バイタルサイン	体温	36.5℃	血圧	179 / 93 mmHg	脈拍	87 回/分	SP02	99 %	計測時間	7:30
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	令和06年02月22日(木)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●様		続柄		ご主人			
	事故状況と外傷の程度電話にてお伝えする。「わかったわ。すまないな」と返答いただく。									

事故 報告書			施設長		援助課長				係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち												
フリガナ	●●●●●●●●		男 ☒ 女	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子						
本人氏名	●●●●●● 様		97 歳			☐ その他 ()						
報告者	●●●●●					発生(発見)日時	令和06年02月13日(火)		: 分頃			
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()											
状況	☐ 転倒 ☒ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()											
	居室より物音あり。訪室すると車椅子より前のめりで倒れているところを発見する。本人「トイレ行きたくて」「水飲みたくて」とお話しあり何をしようとしたかは不明。フットレスト下りた状態だった為フットレスに足が引っ掛かりそのまま前のめりに倒れた可能性があり。またその際メガネレンズが外れ転倒の際レンズが額にあたり切り傷出来た様子。 【施設内連絡】 14:30 事故の件、電話にて施設長に報告する。											
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☒ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 (左側額切り傷)								部位	左側額		
	転倒の際メガネレンズが外れる。その外れたレンズが額にあたり傷が出来たと思われる。											
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 身体を起こし止血対応しベッドに横になって頂く。その後医務に連絡し処置行う。											
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間		
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()											
事故防止対策												
	加ファレンスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要											
家族への説明	令和06年02月13日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●			
	家族氏名		●●●●●				続柄		長男の嫁			
	事故の件電話にてお伝えする。「迷惑かけてばかりですみません」とお言葉頂く											

事故 報告書				施設長		援助課長		係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●●			男 ☒ 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子				
本人氏名	●●●●● 様			79 歳			☐ その他 ()				
報告者	●●●●●			発生(発見)日時		令和06年02月11日(日) 15:00 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☒ その他(拠点)										
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☒ その他(尻もち)										
	間食提供中、他利用者様に声がけをする為一時拠点離れる。 拠点に戻った際には、車椅子から降り少し離れた場所にて尻もちをつかれている状態で発見される バイタル測定後、居室にて身体観察行いう際「職員の所へ行こうと思って尻もちついたの」と話される 施設内連絡 15:45 ●●施設長にチャットラックにて報告する。 ●●課長にチャットラックにて報告する。										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他(打撲)								部位	臀部	
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☒ 受診 ☐ その他 () 2月19日：体の痛み引かず●●●●●病院へ受診される。骨折なく打撲と診断受ける。										
バイタルサイン	体温	35.8℃	血圧	138 / 100 mmHg	脈拍	68 回/分	SP02	97 %	計測時間	15時10分	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ワレシスの必要性について ☒ 不要 ☐ 必要										
家族への説明	令和06年02月11日(日)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		島谷智実		
	家族氏名		●●●●●様		続柄		長男				
	15時頃歩行され拠点にてしりもち疲れた事謝罪し状態説明する。「すみません、よろしくお願いします。」とご返答頂く。										

事故 報告書		施設長		援助課長						係長		担当			
フルーツ・シャトーよいち															
フリガナ	●●●●●●		男 (女)	要介護 4		移動		☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子							
本人氏名	●●●●●● 様		93 歳				☐ その他 ()								
報告者	●●●●●●				発生(発見)日時		令和06年02月01日(木) 13:20 分頃								
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()														
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()														
	排便処置後の為トイレ座って頂き職員退室し他者の介助中“ゴン”と音あり訪室。右下に転倒されており左眉下に腫脹・内出血確認取れる。隣室にいた看護師と2名でベッドへ移乗する。 13時にトイレへ座り15分経過後も排便はなく継続して座って頂いていた。対応時座りが浅く職員2名で深く腰掛け直し、介助バーを伸ばし掴まれるようにしていた。転倒時トイレ内に排便中量確認取れている														
	施設内報告 17:28 チャットラックにて施設長へ報告する														
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☒ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()										部位	左眉下・左手 第5指付け根			
	左眉下に6cm大の内出血・腫脹。左第5指付け根に内出血 目には掛かっておらず視界には問題なし														
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () ベッド安静して頂きタオルで固定し保冷剤で冷却する。その他全身確認する 14:10 受診に行き骨折は無く転倒による頭部打撲と診断受け帰園される														
バイタル	体温	36℃		血圧	110 / 66 mmHg		脈拍	84 回/分		SP02	96 %		計測時間	13:20	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()														
事故防止対策															
	加ファリスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要														
家族への説明	令和06年02月01日(木)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●看護師						
	家族氏名		●●●●●●様				続柄		姪						
	13:40 頭部ぶつけている為受診に行く事お伝えする。「お手数かけます。よろしくお願いします。」とお言葉頂く 16:00 帰園し受診結果お伝えする。「ありがとうございます。よろしくお願いします。」とお言葉頂く。														

事故 報告書			施設長		援助課長		係長		担当			
フルーツ・シャトーよいち												
フリガナ	●●●●●●	男 ☒ 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子							
本人氏名	●●●●●● 様	103 歳			☐ その他 ()							
報告者	●●●●●			発生(発見)日時		令和06年01月31日(水) 15:40 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()											
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☒ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()											
	右上腕部に紫色の変色(2×5cm程) 確認する。原因不明も、介助の際にご自分で動かれ抵抗された際に出来たと思われる。 1月31日 17:25 施設長・援助課長へチャットラックにて報告する。											
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()								部位	右上腕部		
	2cm×5cm程度の変色											
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()											
	痛み見られない為、そのまま様子みる。											
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SpO2	%	計測時間		
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()											
事故防止対策												
	カフアレスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要											
家族への説明	年 月 日 ()		説明方法		☐ 面会 ☐ 電話		説明職員					
	家族氏名									続柄		
	次回面会時、説明する。											

フルーツ・シャトーよいち

施設長		援助課長			係長	担当

フリガナ	●●●●●●●●		男 ☒ 女 ☐	要介護 5		移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子 ☐ その他 ()			
本人氏名	●●●●● 様		77 歳							
報告者	●●●●●		発生(発見)日時		令和06年01月26日(金) 21:30 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☒ その他 (サイドレールに頭部挟まる)									
	巡回時ベッド上左側サイドレールに左頭部が挟まっているのを発見する。体勢整え他グループ職員と一緒に身体観察する。 施設内連絡 22:10 ●●施設長に●●係長より事故の件と待機看護師からの指示を報告する。家族への連絡は明日朝にするよう、またサイドレールにカバーを装着するよう指示を受ける。 27日7:30 チャットラックにて●●課長に事故の件、今朝までの状態報告する。									
症状	☐ 無傷 ☒ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☒ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()						部位	左頭部		
	左額に皮膚剥離あり。皮膚剥離部より横に圧迫によるへこみ見られる。左瞼から左頬に腫れ・変色あり。嘔気嘔吐見られず。 医務より顔面を冷やすよう指示ありクーリングする。									
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()									
	21:30待機看護師に電話で連絡し顔面を冷やすよう指示ありクーリングする。 27日6:56 チャットラックにて夜間の状態連絡する。そのまま様子見る様指示あり。 10:45 ●●●●●病院救急に受診する。CTの結果は、脳の内出血や骨折はなし。									
バイタルサイン	体温	37℃	血圧	108 / 64 mmHg	脈拍	81 回/分	SP02	92 %	計測時間	21:30
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
	カフレスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要									
家族への説明	令和06年01月27日(土)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		鈴木紀美恵	
	家族氏名		●●●●●様		続柄		夫			
	電話にて昨夜の事故の報告し謝罪する。現在までの状態お話しすると「そうですか。わかりました」と話されこれから受診するお話しすると「こちらも行きます」と話される。									

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●●	男 ㊟	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●●●● 様	95 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●●				発生(発見)日時	令和05年10月20日(金) 11:00 分頃				
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☒ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☒ 不明 ☐ その他 ()									
	入浴時、右腋窩から側腹部にかけて広範囲にわたる紫色の変色がある事を発見する。 14:30 ご家族(長女)へ電話にて報告 15:00 施設長、副施設長へ口頭にて報告									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()							部位	右腋窩から側腹部にかけて	
	右腋窩から側腹部にかけて広範囲に紫色の変色あり。可動に問題なく腫れもない。触れると痛みあり。									
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()									
	触れると痛みあるもその他症状なくこのまま様子を見る。									
バイタルサイン	体温	36.3℃	血圧	112 / 70 mmHg	脈拍	78 回/分	SP02	%	計測時間	11:00
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
	かフアルシスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要									
家族への説明	令和05年10月20日(金)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●氏		続柄		長女			
	ご家族へ電話にて変色の件を報告、謝罪し了承を得る。									

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●	男(女)	要介護 4	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()					
本人氏名	●●●●● 様	91 歳								
報告者	●●●●●	発生(発見)日時			令和05年09月26日(火) 20:45 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室から出て来られ、トイレへ向かって歩き出した途端にふらつき右側を下にして転倒される。テーブルの端に頭部の右側をぶつけ床に倒れ込み、頭部と腰の痛み訴えあり。介助にて車椅子に移乗された後に状況尋ねると「足がもつれて転んだ、トイレ行きたかったの」と話される。靴は両足かかとまで履いており、排泄の訴えあった事から急ぎ足でトイレへ向かおうとして足がもつれ、転倒に至ったと思われる。職員は離れた位置にいた為、間に合わず。 施設内連絡 20:50 ●●援助員より主任看護師(待機医務)へ事故の件を連絡。 21:30 ●●援助員よりチャットラックにて施設長、援助課長へ報告。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☒ 熱感 ☐ その他 (頭部と腰の痛み、吐き気)							部位	右側頭部、腰	
対応	☐ 様子観察 ☒ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 医務指示にて、頭部クーリングと腰に湿布貼付。 9月27日9:00に余市協会病院受診される。CT検査の結果、右恥骨の骨折あり。そのまま入院となる。									
バイタルサイン	体温	36.4℃	血圧	147 / 109 mmHg	脈拍	59 回/分	SP02	91 %	計測時間	20:55
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	令和05年09月27日(水)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		援助課長補佐	
	家族氏名		●●●●●様					続柄		息子
	電話にて転倒時の状況お話しする。トイレに行く途中で足がもつれ倒れテーブルにぶつかり転倒に至った事。転倒後に排便があったので本人が急いでいた可能性もある事を説明し謝罪する。「あーそうですか」と返答。協会病院では面会はできますか？との問い合わせあり、出来ると思うが詳しい事に関しては協会病院へ問い合わせを直接し、欲しい事を伝える。									

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●●	男 (女)	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●● 様	79 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●●●	発生(発見)日時			令和05年09月24日(日) 06:50 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室よりカサカサと物音あり様子伺おうと動いた時に「ドン」と音あり。居室内ベット足元壁側で左下にし転倒される。目覚められ、壁の方に歩き、途中で体勢を崩し転倒されたと思われる。「いててて」と話され何処が痛いか尋ねると「ここと肩、頭は打たなかった。上手に転んだの。」と左ひじを摩りながら話される。ベットら異動して頂く時に「何でこんなんで転んじゃうんだろう」とがっかりした様に話され。ベッド上で身体観察させて頂くと左ひじに皮膚剥離見られる。他に症状無く何をしようと思きたか尋ねると「起きる時間だと思って」と話される。「もう少し寝てるわ」と話されベッドで休まれる。 施設内連絡 8:00 ●●施設長にチャットラックにて報告する。 ●●課長にチャットラックにて報告する。									
症状	☐ 無傷 ☒ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()					部位	左ひじ			
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 出血等無い為医務出勤までそのまま様子見る。 9:20 医務より左肘転倒による皮膚剥離あり(1cm弱)痛みなく、他の部分も痛みないと話される。頭痛、嘔気なし。リンデロンVG、ケアリーブ処置し様子見る。									
バイタル	体温	36.6℃	血圧	133 / 90 mmHg	脈拍	69 回/分	SP02	97 %	計測時間	6:55
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	令和05年09月24日(日)		説明方法		☒ 面会 ☐ 電話		説明職員		●●●●●●	
	家族氏名		●●●●様		続柄		長男			
	今朝居室内で転倒されたこと謝罪し現在までの状態報告する。「すみません。よろしくお願います」と話あり。また「近々長袖等持っていくます」と話される。									

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●●●●	男 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●● 様	89 歳	☐ その他 ()							
報告者	●●●●●●	発生(発見)日時			令和05年09月16日(土) 14:50 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室内廊下で転倒されている所発見する。右前腕に皮膚剥離ある為その場で医務に連絡し処置しベットに移乗する。処置中痛みなど確認すると「痛くない。転んだだけ」何をしようとしたか尋ねると「あっち行こうかなって思ったら転んだ」と笑顔見せながら話される。 施設内連絡 15:30 ●●SVに転倒の件口頭で報告する。 15:50 ●●施設長にチャットラックで転倒の件報告する。 ●●援助課長にチャットラックで転倒の件報告する。									
症状	☐ 無傷 ☒ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()						部位	右前腕		
	擦れたような皮膚剥離(10cm×1cm程)									
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 15:15 医務にて右前腕リンデロンv.g 塗布後メロリンガーゼ+フィルム保護施行。医務と全身観察する。変色、腫脹、熱感などある部分なく手を握る、拳上保持、下肢の動き問題なし。									
バイタルサイン	体温	36.6℃	血圧	128 / 77 mmHg	脈拍	80 回/分	SP02	99 %	計測時間	15:10
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	かファミリスの必要性について		☒ 不要 ☐ 必要							
	令和50年09月16日(日)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話	説明職員		鈴木紀美恵		
	家族氏名		●●●●●様		続柄		長男			
電話にて転倒の件報告し謝罪する。「迷惑かけてすみません」と話受ける。										

事故 報告書	施設長		援助課長			係長	担当

フルーツ・シャトーよいち

フリガナ		男 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●● 様	92 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●	発生(発見)日時		令和05年07月12日(水) 03:20 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 巡回の為居室訪室するとベッド下に右側を下にし右腕が背後に周っている状態で床に横たわっている。本人にどの様になったのか確認するが「どうなったかわからないんだよね」と話されている。使用しているセンサーは使用位置よりずれておりスイッチが切れている状態・車椅子はストッパーが外され普段の位置からは離れた場所にあり、左の靴はベッド上にあった。転倒時の詳細は不明。 【施設内連絡】 9:20 ●●係長より 施設長・副施設長・援助課長へチャットラックにて報告									
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (圧ぱく痕)					部位 右肩下・右手 1 右側・2 指 左側 右手首				
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 介助にてベッドに座って頂く、排泄の訴えされた為、トイレに行く。									
バイタルサイン	体温	36.2℃	血圧	122 / 74 mmHg	脈拍	82 回/分	SP02	93 %	計測時間	04:20
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	かファリシスの必要性について		☐ 不要 ☐ 必要							
	年 月 日 ()		説明方法		☐ 面会 ☐ 電話		説明職員			
	家族氏名							続柄		
面会時に状況説明を行なう事とする。										

事故 報告書		施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●●●●●	男 女	要介護 4	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●● 様	89 歳	☐ その他 ()							
報告者	●●●●●●	発生(発見)日時			令和05年07月05日(水) 13:50 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 (自室ベッド足側の床)									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室より「ドン」と物音し訪室。ベッド足元の床に座っている。痛み無いとの事で介助にてベッドに移乗。身体観察すると左肘付近に皮膚裂傷2箇所あり、どちらも1cm程度。 施設内報告 14:00 ●●施設長にチャットラックにて報告する。 ●●課長にチャットラックにて報告する。 16:00 ●●SVに口頭で報告する。									
症状	☐ 無傷 ☒ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (事故の翌日から腰の痛み訴えあり)					部位	右肘付近			
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 事故後、看護師に外傷部処置してもらい経過観察する。翌日の起床時に腰の痛み見られる為、●●●●病院(整形)に受診予約。7月7日に整形受診しレントゲン結果、骨には異常見られず痛み止めの処方となり経過診る事になった。									
バイタル	体温	36.4℃	血圧	98 / 71 mmHg	脈拍	76 回/分	SP02	96 %	計測時間	14:10
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()									
事故防止対策										
家族への説明	令和05年07月05日(水)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●●	
	家族氏名		●●●●●様		続柄		次男			
	電話にて居室で転倒された件報告し謝罪する。「いいえこちらこそすみません。」と話される。									

事故 報告書				施設長		援助課長		係長		担当	
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●●●●●●			男 女	要介護 5	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子				
本人氏名	●●●●● 様			91 歳			☐ その他 ()				
報告者	●●●●●			発生(発見)日時		令和04年12月29日(木) 10:00 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☒ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☒ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()										
	朝食介助の際プラスチックスプーンを使用していた。食事を食べ終え、お茶を摂取した時にご本人がスプーンを噛み砕いてしまいプラスチックスプーンの先1cmくらいが口の中に入った為、すぐに他の援助員に助けを呼び2名で口腔内を確認したが、一部しか口の中から取り出せず医務に処置を要請した。 施設内連絡 10:00 医務へ 誤食事故の報告をし処置を要請する。 12:20 施設長へ 誤食事故の件、チャットラックにて報告する。 12:23 援助課長へ 誤食事故の件、チャットラックにて報告する。										
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()								部位		
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☒ 受診 ☐ その他 () 医務に処置を要請する。口を開ける為に色々な方法を試したが開かず、口の中に残っているのか飲み込んでしまったのか不明な為、受診となるが未処置で帰園し様子見となる。 ・5mm程のプラスチックの破片が口腔内に残っているもしくは飲み込んでしまっている可能性あり、受診となる。医師からは5mm程度のプラスチックなら排便と共に出てくる可能性が高く、心配なら寝かせてカメラで診る方法はあるがと説明を受ける。長女様にお電話し確認の上、このまま経過みることを選択される。										
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	加ワレシの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要										
家族への説明	令和04年12月29日(木)		説明方法		☒ 面会 ☐ 電話		説明職員		鈴木紀美恵		
	家族氏名		後藤よしみ様					続柄		長女	
	当施設来園された為、受診後特に変わりなく過ごされている事、今後同じ事ないように金物のスプーンを使用していく事お話し謝罪する。「今までスプーンかじる事なかったんですね」と話され移動後にもかじるような事見られてはいなかった事お話しする。「環境変ったからかもしれないですね」と話される。また何か変化あったら連絡する事お伝えする。										

事故 報告書			施設長		援助課長		係長		担当		
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●●●●		男 ☒ 女	要介護 5	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子					
本人氏名	●●●●●● 様		88 歳			☐ その他 ()					
報告者	●●●●●●				発生(発見)日時		令和04年12月06日(火) 12:45 分頃				
場所	☐ 居室 ☒ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他(食席)										
状況	☐ 転倒 ☒ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()										
	昼食後、ホールにて水分摂取して頂いていた。12時45分に車椅子よりずり落ち、フットレストに臀部が乗り、足は折れ曲がり床についている所を医務課長と共に発見する。 (施設内連絡) 12月6日 13:00 施設長へ事故について口頭にて報告する。 ●●SVへ口頭にて報告する。 20:11 ●●●援助課長へチャットラックにて報告する。										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()								部位	右脛	
	右脛に縦5cm程の発赤あり、直後は痛み聞かれるも、10分後何うと痛み消失。										
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()										
	ベッドへ臥床介助後、医務課長と共に全身観察行うも、その他変色や外傷なし。										
バイタルサイン	体温	36.3℃	血圧	134 / 89 mmHg	脈拍	70 回/分	SP02	95 %	計測時間	14時55分	
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 ()										
事故防止対策											
	カンファレンスの必要性について ☐ 不要 ☐ 必要										
家族への説明	令和04年12月06日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●SV		
	家族氏名		●●●●●●様				続柄		ご長女様		
	電話にてずり落ちの件、状況とご本人の状態を説明し謝罪する。「分かりました」とお話しあり。										

事故 報告書				施設長		医務課長		管理者		担当			
フルーツ・シャトーよいち													
利用料				男 女		要介護 5		移動		☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☒ その他 (手引き歩行)			
本人氏名		●●●● 様		84 歳						発生(発見)日時 令和06年01月06日(土) 13:00 分頃			
報告者		●●●●											
場所		☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☒ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()											
状況		☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 13時頃、食卓テーブルで過ごされていましたが一人で歩き出し、2歩ほど歩いたところで足がもつれ転倒されております。食事が終わり居間で過ごされており、職員が他の入居者のトイレの訴えの対応中に一人で歩いていた。●●氏が立ち上がったことに気づき、対応しようとしたが歩行介助中で離れられず間に合いませんでした。顔の右の頬骨付近をぶつけ、赤くなっています。右手首に1.5cm程の皮膚剝離あり処置をしています。他は特に動作など問題なく経過見えています。 ☐ 施設内報告 13:54 介護職員より施設長にチャットラックで事故報告する。											
症状		☐ 無傷 ☒ 表皮剝離 ☒ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()										部位 右ほお骨 右手首	
		右手首付近に皮膚剝離、右ほお骨に2cm程の擦り傷が見られる。											
対応		☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () バイタル測定し特に異常見られない為拠点ソファに横になって頂き様子を見る。 右手首の皮膚剝離 リンデロン塗布しケアリーヴ保護する 右ほお骨 リンデロン塗布											
バイタル		体温 36.3℃		血圧 162 / 101 mmHg		脈拍 80 回/分		SpO2 98 %		計測時間 13時			
要因・原因		☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 () 職員は当時、リビングで1人で見守りをしていたが、他利用者からトイレの訴えがあり、介助中に入っていた。一人に対応している時間帯で介助が必要になった場合は、隣のユニットへヘルプの要請をすべきところだったが、●●氏が落ち着いている様子だったため、大丈夫だろうという気持ちから、一人に対応してしまったことが原因。											
事故防止対策		様子が落ち着いているように見えても急に動き出すことがあるため、職員が介助に入る際には見守りの職員が必要。今後は、隣のユニットへヘルプの要請をする。または●●氏の同意を得て、隣のユニットで過ごしてもらうなどの柔軟な対応を行う。											
		ケアレスの必要性について ☒ 不要 ☐ 必要											
家族への説明		令和06年01月06日(土)		説明方法 ☐ 面会 ☒ 電話		説明職員 ●●●●							
		家族氏名 ●●●●様				続柄 長男							
		ご家族に状況を説明し、謝罪する。ご家族からは「いつも迷惑かけてすいません」とのお言葉を頂く。											

事故 報告書		施設長		医務課長		管理者		担当者			
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ	●●●●●	男 (女)	要介護 3	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☒ 車椅子						
本人氏名	●●●●● 様	89 歳			☐ その他 ()						
報告者	●●●●●			発生(発見)日時		令和05年11月30日(木) 14:30 分頃					
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 (居室床に座り込んでいる) 職員居室内の様子を見に行くと居室中央でベッド側を向き長座位で座っているのを見つける。 床に失禁されている様子。 ご本人へ状況を確認。 トイレに行くため歩行器でベッドから起き上がり、前方にある車椅子に移ろうとされ際、車椅子のグリップを掴み 損ね転倒されたとの事。 14:40 管理者へ報告 14:44 施設長へチャットラックにて報告										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (臀部ぶつけた為痛み有りとの事) 部位 臀部 観察時腫れ変色、傷見られないも本人より動く時お尻が痛いと話す。 回転動作時、立ち上がり時、膝上げ時に観察、確認するも痛み無く経過。										
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☒ その他 (痛み止め軟膏塗布) 本人用痛み止め軟膏を臀部に塗布し観察開始する。										
バイタル	体温	36.3℃	血圧	157 / 79 mmHg	脈拍	77 回/分	SpO2	96 %	計測時間	15:00	
要因 原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 () 昼食後拠点に職員が居たが、他利用者対応をしており動き出したことに気づかなかった。 昼食後、12時30分に多量の排尿あったが、排泄時間経過され尿意あり起きられた。時間間隔を確認せず様子を見な かった。										
事故防止 対策	トイレ誘導後も尿意ある事がある為、居室で休まれている際は30分間隔で居室の様子を伺う。 昼食後は本人へ仮眠を取られるか確認し、仮眠の希望がない場合は拠点で過ごして頂く。 カフアレスの必要性について ☒ 不要 ☐ 必要										
家族への 説明	令和05年11月30日(木)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●●		
	家族氏名		●●●●●様				続柄		長女		
	電話にて居室え転倒されていた事、現在までの状況、不調時の対応についてご連絡、謝罪する。 ご家族様より「宜しく申し上げます」との返答頂く。										

事故 報告書		施設長		医務課長		管理者		担当	
フルーツ・シャトーよいち									
フリガナ	●●●●様		男 女	要介護 5	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()			
本人氏名	●●●●様		84 歳						
報告者	●●●●		発生(発見)日時		令和05年11月27日(月) 17:45 分頃				
場所	☐ 居室 ☒ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()								
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 居室より一人で廊下まで歩いてきて、バランスを崩し転倒した。 居室にて横になり過ごされていた。職員は10分おきに様子を見に行っていた。眠っている様子であったため食事の準備を始めたところ、その間に一人で起きて、廊下まで出てきたところでバランスを崩し転倒した。 ☐ 施設内報告 19:30頃 施設長へ事故状況、本人の状況、対応経過について管理者から報告								
症状	☐ 無傷 ☒ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☒ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 () 部位 体の右側から転倒し、右肩下に3cm程度の裂傷あり、右手甲に3か所の皮膚剥離あり。								
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 看護師に報告し状態確認する。 右眉尻に3cm程度の裂傷あり、止血処置する。右手首に1cm、手背に1.5cmと1cm程度の表皮剥離あり、ステリーテープとガーゼにて処置する。								
バイタルサイン	体温	℃	血圧	145 / 78 mmHg	脈拍	84 回/分	SpO2	%	計測時間
									17:55
要因・原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他 (日中の対応について協議する必要性があった) 10分置きに様子を見には行っていたが、その間に起きたことに気が付くことができずに転倒に至ってしまった。 日中の過ごし方や居室で横になりたいという希望があった時の対応が協議されてなく、こまめに様子を見に行くという見守りの対応でしかなかったことが原因と考えられた。								
事故防止対策	●●氏の過ごし方について、カンファレンスで協議を行う。 事故防止対策も具体的対応について、検討する。転倒防止の対策としては、日中は本人の同意を得て、できるだけ居間で過ごしてもらい、見守りのできるところで過ごしていただく。何かを集中してできるような感じではないが、字を書いたり、色を塗るなどは比較的取り組める様子があるので働きがけていく。 一人で対応しなければならない時には隣のユニットで本人の同意を得て過ごしてもらったりまたは職員に見守りをお願いする対応をし、経過を見る。夜間は寝付くまでは、居室前にて様子を見ることは継続する。 暴言や暴力行為が数日置きにあるため精神科の医師に状況を報告、対応について相談し、医師の指示や意見のもと、対応をしていく。 カンファレンスの必要性について ☐ 不要 ☒ 必要								
家族への説明	令和05年11月27日(月)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●
	家族氏名		●●●●氏		続柄		長男		
	事故状況と本人の状態、対応について説明し、謝罪する。長男様より「もう大分歩けないですね。転んだら一人でたてないでしょう。迷惑かけますがよろしくお願いします。」とご理解いただいた。								

事故 報告書		施設長		医務課長		管理者		担当			
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ		●●●● 様		男 女		要介護 5		移動		■独歩 □歩行器 □杖歩行 □車椅子 □その他 ()	
本人氏名		●●●● 様		84 歳				発生(発見)日時		令和05年11月27日(月) 17:45 分頃	
報告者		●●●●									
場所		□居室 ■ホール □浴室 □トイレ □拠点707 □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内 □その他 ()									
状況		■転倒 □転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □トラブル □単独外出 □介護中 □不明 □その他 () 居室より一人で廊下まで歩いてきて、バランスを崩し転倒した。 居室にて横になり過ごされていた。職員は10分おきに様子を見に行っていた。眠っている様子であったため食事の準備を始めたところ、その間に一人で起きて、廊下まで出てきたところでバランスを崩し転倒した。 □施設内報告 19:30頃 施設長へ事故状況、本人の状況、対応経過について管理者から報告									
症状		□無傷 ■表皮剥離 □擦過 ■切傷 □内出血 □火傷 □腫れ ■変色 □熱感 □その他 () 部位 体の右側から転倒し、右肩下に3cm程度の裂傷あり、右手甲に3か所の皮膚剥離あり。									
対応		■様子観察 □湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 ■止血 □受診 □その他 () 看護師に報告し状態確認する。 右肩尻に3cm程度の裂傷あり、止血処置する。右手首に1cm、手背に1.5cmと1cm程度の表皮剥離あり、ステリーテープとガーゼにて処置する。									
バイタル		体温: °C 血圧: 145 / 78 mmHg 脈拍: 84 回/分 SpO2: % 計測時間: 17:55									
要因・原因		■見守り不足 □知識・技術不足 □ルール不遵守 □情報不足 □環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題 ■その他 (日中の対応について協議する必要性があった) 10分置きに様子を見には行っていたが、その間に起きたことに気が付くことができずに転倒に至ってしまった。 日中の過ごし方や居室で横になりたいという希望があった時の対応が協議されてなく、こまめに様子を見に行くという見守りの対応でしかなかったことが原因と考えられた。									
事故防止対策		●●氏の過ごし方について、カンファレンスで協議を行う。 事故防止対策も具体的対応について、検討する。転倒防止の対策としては、日中は本人の同意を得て、できるだけ居間で過ごしてもらい、見守りのできるところで過ごしていただく。何かを集中してできるような感じではないが、字を書いたり、色を塗るなどは比較的取り組める様子があるので働きかけていく。 一人で対応しなければならない時には隣のユニットで本人の同意を得て過ごしてもらったりまたは職員に見守りをお願いする対応をし、経過を見る。夜間は寝付くまでは、居室前にて様子を見ることは継続する。 暴言や暴力行為が数日置きにあるため精神科の医師に状況を報告、対応について相談し、医師の指示や意見のもと、対応をしていく。									
		カンファレンスの必要性について □不要 ■必要									
家族への説明		令和05年11月27日(月) 説明方法 □面会 ■電話 説明職員 ●●●● 家族氏名 ●●●●氏 続柄 長男 事故状況と本人の状態、対応について説明し、謝罪する。長男様より「もう大分歩けないですね。転んだら一人でたてないでしょう。迷惑かけますがよろしくお願いします。」とご理解いただいた。									

事故 報告書				施設長	医務課長	管理者	担当	
フルーツ・シャトーよいち								
ワガナ		男 女			☐ 独歩 ☒ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子			
本人氏名	●●●● 様	84 歳	要介護 5	移動	☐ その他 ()			
報告者	●●●●			発生(発見)日時	令和05年11月07日(火) 01:10 分頃			
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()							
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 ()							
	居室より「ガサガサッ」と物音がしたため、訪室する。居室入り口にて●●氏が転倒していた。「頼む」「立たせてくれ」と話され、職員が抱えて立たせ、ベッドに座ってもらう。発見時、バルンカテーテルのバックがベッドに掛けたままになっており、●●氏がいる場所で管がピンと張っている状態であった。							
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☒ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()						部位	左の額
	状態確認すると額の左側に擦り傷を確認する。 他は痛みや腫れ変色みられず。							
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()							
	身体確認すると額の左上に擦過傷を確認する。出血なく、軟膏と絆創膏で対応。他は腫れ・変色見られず、動作も問題ない。痛いところもないと話される。経過観察は継続する。							
バイタル	体温	36.1℃	血圧	96 / 57 mmHg	脈拍	95 回/分	SP02	98 %
	計測時間	1 : 4 0						
要因 原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他 ()							
	眠っており30分おきに様子を見に行っていたが、●●氏が起きたことに気付かなかった。 歩行は安定しており、ベッドから入口まではうまく歩けていたが、バルンカテーテルのバックがベッドに掛かったままになっていたため、それ以上進むことができず転倒に至ってしまった。							
事故防止 対策	●●氏がバルンカテーテル留置についての理解が難しい状況から、最低限自由に動けるようにベッドに臥床する際は籠などに入れて床に置いておく対応とした。 また見守りの対応については今後も継続する。							
	加ワリスの必要性について		☒ 不要 ☐ 必要					
家族への 説明	令和05年11月07日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員	
	家族氏名		●●●●氏		続柄		長男	
	転倒の経緯の説明とご本人の状況についてお伝えし、謝罪をする。長男様より「そうですか。自分で外したりできないですね。わかりました。怪我が無くて良かったです。いつも迷惑かけますね」とご理解いただいた。							

事故 報告書		施設長		医務課長		管理者		担当			
フルーツ・シャトーよいち											
フリガナ			男 女	要介護 5		移動		☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()			
本人氏名	●●●● 様		84 歳								
報告者	●●●●				発生(発見)日時		令和05年09月29日(金) 19:15 分頃				
場所	☐ 居室 ☒ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()										
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 夕食後、服薬を終え食卓テーブルにつき、過ごされていた。職員はキッチンで食器の片付けを行っていた。服薬後10分ほど経ったところで他の入居者から「●●さん立ってるよ」と教えてもらい、急いで●●氏の傍に駆けつけるが間に合わず転倒してしまう。左側を下にして転倒した。 ☐ 施設内報告 20:00頃 施設長へチャットラックにて報告。										
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☒ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 () 部位 左こめかみ周辺 左眉上、左こめかみ付近を床にぶつけ、赤くなっている。										
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 左眉上、左こめかみ付近を床にぶつけ、赤くなっている。他身体観察をするが腫れや変色はないとのこと。経過観察は継続する。										
バイタルサイン	体温	36.6℃	血圧	109 / 73 mmHg	脈拍	77 回/分	SpO2	97 %	計測時間	19:30	
要因・原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 () 職員はキッチンで食器洗いをしていた。●●氏の動向は気にしていたが、キッチンで立つ位置が丁度●●氏が死角になってしまう位置で作業をしていたことが原因。顔を向けると●●氏の様子が確認できる状態ではなかった。										
事故防止対策	作業をしながら●●氏を見守る際には、視界に入る位置で作業をするように徹底する。 落ち着きがない様子を確認できた場合は、一旦作業を中止し、●●氏の傍などで見守りを行う。										
ケアワックスの必要性について		☒ 不要 ☐ 必要									
令和05年09月29日(金)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●			
家族氏名		●●●●氏						続柄		長男	
家族への説明		事故の経緯と現在の状況をお伝えする。ご家族より「昨日会った時もぼーっとしている感じだったからやっぱり薬が影響しているのですね。転倒のことはわかりました。今後もよろしく願いいたします。」とご理解いただいた。									

事故 報告書				施設長	医務課長	管理者	担当			
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ		男 女	要介護5	移動	☐ 独歩 ☒ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()					
本人氏名	●●●●様	84 歳								
報告者	●●●●	発生(発見)日時		令和05年09月26日(火) 22:00 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他(ベッドサイド)									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☒ その他(しりもち) 物音がし訪室するとベッドサイドに座り込む所を発見する。 ご本人に確認すると「トイレに行く」と話され、トイレに行こうと立ち上がった際に、バランスを崩したのか、スリッパが滑ったのか、ベッドサイドに擦るような形でずり落ちたと思われる。 バイタル問題なくその後も歩行状態変わらず歩けている。 08:40 管理者へ昨夜のずり落ちの件口頭にて報告する。 08:50 看護師へ昨夜のずり落ちの件口頭にて報告し、ご本人の傷を診ていただきアズノール塗布の指示ある。 09:25 施設長へ昨夜のずり落ちの件チャットラックにて報告する。									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他(擦り傷)						部位	背骨		
	背骨に沿って15cm程の擦り傷、少量の出血ある。 臀部の変色痛みはない。									
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☒ その他(アズノール塗布する。 ●●●●職員と変色やケガは無いか確認し、15cm程の擦り傷から少量の出血はしていたが、血はほぼ止まったためアズノールを塗布して様子をみる。 スリッパを片付けてスニーカーに変える。									
バイタルサイン	体温	36.5℃	血圧	117 / 72 mmHg	脈拍	80 回/分	SpO2	98 %	計測時間	22:05
要因 原因	☒ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 () ・寝ているという認識で、他の業務を行っていた。 ・日頃からスリッパを使用していた。 ・精神科の薬を調整中であった。									
事故防止 対策	・靴が滑りやすかった為、新しい靴を購入する。 ・寝付くまでは居室前で待機する。									
	加ファリスの必要性について		☒ 不要 ☐ 必要							
家族への 説明	令和05年09月26日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員			●●●●
	家族氏名		●●●●様		続柄		長男			
	09:15 ●●●●様へ昨夜のずり落ちの件電話にて謝罪する。「変わりなく歩けているんでしょう?」「またよろしく お願いしますね」と話される。									

事故 報告書		施設長		医務課長		管理者		担 当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	●●●●様		男 女	要介護 5	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 ()				
本人氏名	●●●●様		84 歳							
報告者	●●●●		発生(発見)日時		令和05年08月22日(火) 05:30 分頃					
場所	☐ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☒ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☒ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () ●●●●の介護職員が利用者の居室内にてモーニングケア中、外から金属音聞こえ窓から様子を伺うと中庭に通じる柵を開け中庭に入ろうとされている●●氏を見つける。●●氏が外に出ていると連絡を受け、迎えにいき、居室まで付き添う。その後はお部屋で休んで頂く。 事故発見時、担当職員は腹痛の為トイレに行っており、外に出たことに気付かなかった 【報 告】 7:25 副主任より施設長へチャットラックにて事故報告する。 7:28 副主任より管理者へチャットラックにて事故報告する。 12:26 副主任より援助課長へチャットラックにて事故報告する。									
症状	☒ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 () 部位 転倒した様子はなく、怪我などはなし。									
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 ()									
バイタルサイン	体温	36.6℃	血圧	118 / 66 mmHg	脈拍	77 回/分	SpO2	99 %	計測時間	6時00分
要因・原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☐ その他 () 最近の●●氏の外出希望行動は時間が特定できておらず、早朝や夜間にも玄関を開ける様子が見られていた。 ●●氏が外に出たい理由は不明である。玄関の会場は自力で行えるため、環境整備での対応だけでは再度外出行動を繰り返す可能性がある。 ユニット担当職員は、持ち場を離れる際に他ユニットの職員へ離れる事を引継ぎしなかった。介護職員は●●氏の最近の状態の認識はしていたが、状態の変化に伴った再アセスメントや対応の統一がされていなかったことが原因と考える。									
事故防止対策	遅番が20時に退勤してすぐに夜勤者が施錠を行う。 21時・0時・3時の巡回時に併せて玄関の施錠を再確認する。 ●●●ユニットの職員は、持ち場を離れる際に必ず他ユニット職員へ伝える事を徹底する。10分以上離れる場合は、巡回、様子確認をしてもらう。 ●●氏の様子を都度詳細に入力する。毎月記録を確認、カンファレンスを実施し、対応を検討する。 対応について、変更した内容は、記録の事故対応に入力し、引継ぎ時に周知し、両ユニットで情報共有をする。									
	カンファレンスの必要性について		☒ 不要 ☐ 必要							
家族への説明	令和05年08月22日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員		●●●●	
	家族氏名		●●●●様		続柄		長男			
	長男様より折り返し電話頂く。今朝5時30分頃外にいるのを見つけ居室まで案内。外傷無くバイタル問題ない様子。昨夕より不眠続き夜間中も外出されようとする様子何度かあり注意していたが結果このような事になり大変申し訳なかった事謝罪する。現在まで体調の変化見られない為このまま観察継続させて頂きたい事お伝えし改めて謝罪する、ご家族より「朝早くから迷惑かけます。よろしく願います」とご了承の返事頂く。									

事故 報告書		総合施設長		施設長	医務課長	管理者	担当
フルーツ・シャトーよいち							
フリガナ	●●●●●	男 (女)	要介護 5	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子 ☐ その他 (手引き歩行)		
本人氏名	●●●●● 様	84 歳					
報告者	●●●●	発生(発見)日時		令和05年06月03日(土) 05:10 分頃			
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点フロア ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()						
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☒ 不明 ☐ その他 () 5:10分頃 職員、見守りが必要な男性利用者の洗顔、髭剃りを見守っていた。その頃●●氏が靴を履いた状態で居室から出て来られるが、手すりを掴みながら右足を引きずって歩いているのを確認する。どうしたのか尋ねるも説明が「転んでないよ、転んだんだ」と二転三転され、状況は不明、身体観察、バイタル測定するも特に変わりなく、様子を見た。 6月4日 05:10 居室より出て来られ手すりに掴まり足を引きずって歩いているのを職員見つける 手引き歩行は可能であり、ソファにお連れする。 15:50 医務課長へ日中の観察状況報告 6月5日 9:20 施設長へ●●●●援助員より前日からの状況、受診する旨チャットラックにて報告。 11:20 管理者へ●●●●援助員より受診結果右大腿骨頸部骨折の為入院の旨報告。 11:30 施設長へ管理者より受診結果について報告。						
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☒ その他 (右足付け根付近の痛み) 部位 右足の付け根付近 痛みはあるが、職員手を取りながらだと歩行は出来る状態。						
対応	☒ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 職員手引き歩行にて歩行は可能。居間のソファにお連れし安静にして頂き、経過観察をした。 入浴日だったが管理者と協議し、やや痛みはあるが腫れ、変色なく経過、バイタル問題なく歩行も手引きにて可能な状態だったが、大事を取りシャワー浴にした。 11時頃より痛み強くなり、移動時車椅子対応する。 15時50分、右足付け根部分の痛みと熱感あり、湿布にて対応する。医務課長へ状態報告、相談する。骨折の疑いもあり、整形外科受診する様助言を受ける。 夜間は強い痛みなく、良眠された。 翌6月5日、●●●●●●●●●●病院受診し、右大腿部頸部骨折との診断をうける。						
バイタル	体温	36.5℃	血圧	137 / 76 mmHg	脈拍	64 回/分	SP02 98 % 計測時間 5:10分
要因 原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他 (転倒のリスクの情報収集が不十分で対応が統一されていなかった) ・本人がバランスをくずした事。 ・「家にいてもよく転んでいた」という家族からの話があったが、入居時に情報提供があったのか不明である。 ・転倒リスクの情報収集とアセスメントが不十分であった。 ・転倒のリスクを感じ付き添いをしている職員もいたが、対応の統一がされていなかった。						
事故防止 対策	・日常の動作において、転倒する可能性に気づいた職員が他職員と情報共有・対応を統一する方法をGHI内で検討する ・術後経過良好にて退院している。退院後の状態に応じて今後の具体的な対応を検討する。 ・居室内を一人で歩いてしまった時でも転倒する前に察知できるようにベッドの位置を変更し、居室入り口までの動線を短くした。 ・夜間帯は●●氏の様子がわかる位置で待機し、●●氏の状況把握に努める。						
ケアパワズの必要性について		☐ 不要 ☒ 必要					
令和05年06月04日(日)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員 ●●●●●	
家族氏名		●●●●●氏				続柄	娘
家族への説明		状況を説明し謝罪する。ご家族より家に居る時もよく転んでいたの、気にしないで下さいとのお言葉を頂く。					

事故 報告書				総合施設長	施設長	医務課長	管理者	担当		
フルーツ・シャトーよいち										
フリガナ	男 ㊟	要介護3	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 杖歩行 ☐ 車椅子						
本人氏名	●●●●● 様	96 歳		☐ その他 ()						
報告者	●●●●●	発生(発見)日時		令和05年04月04日(火) 08:30 分頃						
場所	☒ 居室 ☐ ホール ☐ 浴室 ☐ トイレ ☐ 拠点707 ☐ 廊下 ☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ 送迎車内 ☐ その他 ()									
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 単独外出 ☐ 介護中 ☐ 不明 ☐ その他 () 職員一人が口腔介助中、もう一人が食器洗い中だった。ADLは自立している為、いつものように歯磨きに自分の足で行かれる。職員一人が入浴準備の為に風呂場で用意をしていると、「ゴン」って音がしたので様子を見に行く。途中本人の居室の扉が30cm程あいた隙間から、頭部をTV側にして右側臥位で倒れている所を発見した。 【施設内連絡】 10:15 医務に事故の状況を報告 12:40 施設長に事故の状況を報告 13:20 家族に事故の状況を報告									
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 擦過 ☒ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 火傷 ☐ 腫れ ☐ 変色 ☐ 熱感 ☐ その他 ()					部位	後頭部・右側 臀部・右腰部			
	後頭部1cmの裂傷・微量出血、右臀部、右腰部の痛みを訴える。変色はなし									
対応	☒ 様子観察 ☒ 湿布 ☒ 冷却 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 止血 ☐ 受診 ☐ その他 () 後頭部の腫れがある為、アイスノンで冷やす。 右臀部に湿布貼付する。									
バイタルサイン	体温	36.5℃	血圧	127 / 58 mmHg	脈拍	61 回/分	SP02	97 %	計測時間	8:40
要因 原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他 (ADL自立しているため居室内の見守りはしていない。) 本人より「よろけてしまった。」と発言があった。 本人ADL自立されており、歩行も安定されている為、転倒リスクについては考慮していなかった。									
事故防止 対策	ADLは自立されていても高齢者にとっては転倒のリスクはあると考えられる。 居室内にいる時は本人の許可を得てドアを半分程開けて様子が分かるようにして頂く。 歩行時に職員は「気をつけて下さい。」と声掛けをして行く。									
	ケア介入の必要性について		☒ 不要 ☐ 必要							
家族への 説明	令和05年04月04日(火)		説明方法		☐ 面会 ☒ 電話		説明職員			若林洋子
	家族氏名		●●●●●氏					続柄	長男	
	今朝の事故の状況について報告し謝罪する。家族様からは「家でもよく転んでいたので大丈夫でしょう。報告ありがとうございました。」とお言葉を頂く。									

事故報告書

理事長	事務長	総務主幹	サ・小SV	管理者	担 当

サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの郷

氏名	氏	男 ☐ 女 ☐	要介護 1	移動	☒ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 見守 ☐ 杖 ☐ 支え ☐ 車いす
報告者		93歳	生年月日	令和5年9月20日	17時45分頃（認知した日時）
発生（発見）場所	サービス付き高齢者向け住宅めくもりの郷 号室前廊下				
状況	☒ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ トラブル ☐ 徘徊 ☐ 器物破損 ☐ 盗難・窃盗 ☐ その他（ ） 外出先から帰宅し、自室前まで来たところで滑ってしまいバランスを崩し前のめりに転倒。その時右手首を床に強くついたため負傷した。				
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 打撲 ☒ 骨折 ☐ 裂傷 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 捻挫 ☐ 火傷 ☐ 脱臼 ☐ その他 受傷部位【右手首橈骨遠位端骨折】				
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 褥瘡処置 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☒ 受診 ☐ 救急搬送 ☒ その他（ショートステイご利用調整。） 9月20日 17：45頃、ご本人より「外出先で転倒した。」報告を受ける。「手首（右）が痛いほかは何ともないからシップを張って様子を見たい。」との希望から受診せず一日様子を見ることになった。 同日 18：10 頃、管理者は担当ケアマネへ電話にて状況報告の一報を入れる。 9月21日 8：10 頃、朝食担当 援助員が居室へ朝食をお届けした際に、右手首の状態を拝見させていただくと、手が大きく腫れ内出血しているのを確認する。その時ご本人より「今朝になってみたら悪化したので、さん（キーパーソン）に連絡して病院へ行くことになった。」と説明を受ける。 8：30 頃、援助員はその内容をふる一つの郷事務所の管理者へ報告する。管理者は直ぐに訪問し改めて右手の状態と、転倒時の状況を確認した。右手から肘にかけて内出血が広がっていることと、右手が全体的に腫れていた。他に痛むところは無かった。先日の聞き取りでは「外出先で転倒」と説明していたが、再度確認したときには「買い物から帰ってきて、部屋の前まで来たところで滑ってバランスを崩し前のめりに転んだ。その時右手を床に激しくついたためけがをした。」と説明を受ける。先日の説明と違うのは記憶違いなのか、迷惑をかけたくない気持ちからそう説明したのかは不明。 9：00 頃、管理者はキーパーソン 氏と、その息子 氏へ電話で状況報告を行った。 10：30 頃、 氏付き添いの下、 を受診し右手首橈骨遠位端骨折で手術を要する。全治3か月。との診断内容だった。 12：30 頃、一度めくもりの郷の居室に戻ってこられ、 氏、 氏、 管理者の三者で今後を協議した。右手が使えない状況で身の回りのお世話が必要なため、21日から病院が見つかるまでの間 のショートステイを利用することになった。 9月23日 入院先が 病院に決まり、ショートステイ先から直接入院された。				
要因 原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他（偶発的事故による） 館内用の上履きがスリッパであったため滑ってしまった。				

防止対策	踵のついた靴に変えていただく。退院後の歩行状態にもよるが、杖や手押し車などの使用も検討する。			
家族への連絡	令和5年9月21日9：00頃		説明方法	電話にてご説明をさせて頂く。
	連絡先	■■■■氏 ■■■■氏	内 容	受傷部位の様子と転倒時の様子。
その他				

事故報告書

理事長	事務長	総務主幹	サ・小SV	管理者	担 当

サービス付き高齢者向け住宅 ふる一つの郷

氏名	氏	男 ☐ 女 ☐	要支援 2	移動	☐ 独歩 ☐ 歩行器 ☐ 見守 ☒ 杖 ☐ 支え ☐ 車いす
報告者		発生（発見）日時	令和 6 年 1 月 2 日	23 時 30 分頃（認知した日時）	
発生（発見）場所	サービス付き高齢者向け住宅ふる一つの郷 号室 室内				
状況	☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥 ☐ トラブル ☐ 徘徊 ☐ 器物破損 ☐ 盗難・窃盗 ☒ その他（歩行時バランスを崩し壁にぶつかる） 上記日時場所において、トイレからベッドに戻る際、バランスを崩し左肩を壁に激しくぶつけた。そのままベッドに戻るも痛みが激しいため、23時58分シップを貼ってもらうためナースコールを使用される。同刻、ナースコールを受け夜勤 援助員が訪室し状態観察を行うと受傷間もないためか、他覚的な変化は見受けられないものの、痛みで左肩が上がらなかった。本人より受傷に至る経過をご説明頂いたが、補足として毎日眠剤を服用していてトイレに起きた時はふらふらしていたと説明を受ける。				
症状	☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 打撲 ☒ 骨折 ☐ 裂傷 ☐ 擦過 ☐ 切傷 ☐ 内出血 ☐ 捻挫 ☐ 火傷 ☐ 脱臼 ☐ その他 受傷部位【左肩骨折】				
対応	☐ 様子観察 ☐ 湿布 ☐ 冷却 ☐ 褥瘡処置 ☐ 吐かせる ☐ 吸引 ☐ 受診 ☒ 救急搬送 ☐ その他（ ） 1月2日 23:58 ナースコール有り、夜勤担当者 援助員が訪室実施。本人より受傷経過の説明を受ける。患部確認するも大きな変化はないものの疼痛強く左肩が上がらなかった。本人希望によりシップを貼り様子を見ることになった。 血圧：151/91 脈 68 体温 36.5℃ サーチレーション：95% 1月3日 6:30 様子観察の為 援助員が訪室する。左肩を自力で上げることが出来ず、痛みに加え腫れが伴っていた。ご本により「自分で病院に行こうと考えていたが無理そう。」とのことで話し合いの結果救急搬送が妥当ということになった。 6:40 管理者出勤。事故に関し 援助員から引継ぎを受け訪室する。本人の意思を確認し救急搬送を実施することになったが、氏より「氏（キーパーソン）は で今の時間は忙しいはずだから、もう少ししてから救急車を手配してほしい。」と希望を受ける。 7:50 時間を見計らい、電話にてキーパーソン 氏へ事故報告と救急搬送について連絡する。氏からは「全て承知したので、お手数ですがお願いしたい。」と回答をいただく。 8:05 救急要請実施。 8:11 救急隊員到着。 8:30 病院へ救急搬送実施。搬送先を 氏へ連絡し病院での対応を依頼した。 10:30 氏がふる一つの郷にいらっしゃり「検査結果左肩骨折で手術を受けるため小樽協会病院へ転院となった。退院日は未定。居室へお邪魔し入院準備をする」と報告を受ける。				

要因 原因	☐ 見守り不足 ☐ 知識・技術不足 ☐ ルール不遵守 ☐ 情報不足 ☐ 環境・設備 ☐ 設備・点検不足 ☐ 人為的問題 ☒ その他		
	偶発的事故による。		
防止 対策	回復の度合いを見て、手すり増設等の住環境の見直しや、歩行器の使用を検討してゆく。また、かかりつけの医師へ眠剤の服用方法について相談をしていただく。		
家族へ の連絡	令和6年1月3日7:50頃	説明方法	電話にてご説明をさせて頂く。
	連絡先	氏	内 容 受傷部位の様子と転倒時の様子。救急搬送の実施と搬送先での対応依頼。
その他			

令和5年度 事故報告概要

事業所名：児童養護施設北海愛星学園

1	令和5年5月30日	13歳女子が登校中に蘭越町民センター付近で、30代の男子からテニスボールを投げられ、右わき腹部に当たったと登校後に担任へ報告する。中学校は不審者として警察へ通報する。その後、倶知安警察署生活安全課による本児への聞き取り及び同時時間帯に通学していた他生徒への状況確認等の結果、それが虚言ということが判明し、本人も嘘偽であることを認める。
2	令和6年02月19日	17歳男子が交際中の他施設の女子児童に対し、学校内で性的行為を強要したことが女子児童から相談を受けた児童より報告を受ける。被害児童の施設にも問い合わせ、事実であるということから、当該児童に確認したところ、2年生になり学校他で数回の性的行為を行ったことを認める。学校にも報告し、無期停学処分となる。被害児童が同じ学校に通学することを拒否していることから、措置変更となる。

令和5年度 事故報告概要

事業所名： 児童養護施設櫻ヶ丘学園

1	令和5年04月06日	16歳女児の無断外出事案が発生。小樽でのアルバイト終了後に新さっぽろへ向かった後、自ら厚別警察署へ向かっている。各関係機関へ報告。面接指導実施。
2	令和5年04月24日	16歳女児の無断外泊事案が発生。登校せずにそのまま千歳市内の友人宅へ無断外泊。余市警察署へ相談実施。児童相談所、施設で千歳警察署へ行き身柄引き渡しを受ける。その後、児童相談所にて面接指導実施。
3	令和5年05月03日	16歳女児、12歳女児の無断外出事案が発生。16歳女児の同室児童が隠し持っていた金銭を盗み、外遊びの時間に無断外出。余市警察署へ相談実施。小樽警察署にて保護され、施設迎えのもとそのまま一時保護。1名はそのまま施設変更、1名は措置継続となる。
4	令和5年05月23日	18歳男児の骨折事案が発生。専門学校の階段でバランスを崩し痛みが生じた為病院受診実施。左足を骨折し全治4週間。各関係機関へ報告実施。
5	令和5年07月26日	15歳女子の過量内服事案が発生。外出先で市販薬を購入し過量内服、そのまま病院受診し入院。各関係機関へ報告実施。
6	令和5年08月28日	15歳女児3名、13歳女児が町内において窃盗、喫煙事案が発生。余市警察署へ相談実施しそれぞれ事情聴取及び児童相談所での一時保護を行い指導実施。各関係機関へ報告。
7	令和5年10月04日	17歳女児の無断外出事案が発生。余市警察署へ相談及び児童相談所、保護者へ連絡実施。数日後より本児と父母がスマートフォンを介して連絡はとれており事件性はないことを確認。10月26日に本児、保護者、児童相談所、施設で四者協議実施。10月27日付けで措置解除(家庭引き取り)となる。
8	令和6年11月06日	16歳女子の無断外出事案発生。余市警察署へ相談及び児童相談所へ連絡実施。児童相談所より保護者へ連絡。退所児童と行動をとみにしていたが、12月11日に行動をとみにしていた退所児童の協力を得て、警察により身柄確保。当日より児童相談所にて一時保護となる。
9	令和6年02月11日	15歳女児の過量内服事案が発生。外出先で市販薬を購入し施設内自室にて服薬。病院受診し4泊5日の入院、1泊2日の一時保護、精神科受診し帰園している。各関係機関へ報告実施。

令和5年度 事故報告概要・感染症の状況

事業所名： にき保育園

事故報告概要		
	事故発生日	内 容
1	その他	日々の保育の中で生じる軽微なすり傷や打撲等が生じており、患部の確認及び応急処置を行った上で保護者へ状況説明と謝罪を実施しご理解いただいております。

感染症の状況(令和5年4月～令和6年3月)		
	罹患者数	病 名
1	15名	溶連菌感染症
2	28名	ヘルパンギーナ
3	6名	新型コロナウイルス
4	2名	インフルエンザ
5	1名	RSウイルス